

長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館


指定管理者候補者選定審査会

審査報告書

令和5年12月

令和5年12月26日

長崎市長 鈴木 史朗 様

長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館
指定管理者候補者選定審査会
会 長 河合 公明 

長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館
指定管理者候補者選定審査会における審査結果について（報告）

長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館の指定管理者候補者の選定に係る申請内容の審査を行いましたので、審査結果について次のとおり報告します。

1 審査結果

第一順位 NBC Socia-Trustee 共同事業体

第二順位 長崎平和施設管理グループ共同事業体

2 選定審査会の構成

会 長	河合 公明	長崎大学核兵器廃絶研究センター
職務代理者	大塚 潤	長崎市中学校校長会
委 員	川野 浩一	長崎県平和運動センター被爆者連絡協議会
委 員	田中 雅資	一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
委 員	森田 健一郎	九州北部税理士会長崎支部

3 審査の方法

応募者から提出された申請書類に不備がないか、募集要項に記載された応募資格等の要件を満たしているかを確認し、事業計画書等の内容や面接に基づき審査を行いました。

また、施設を管理運営する安定した経営能力を有するかについて、応募団体の財務諸表等により審査を行いました。

審査の結果、合計点数が最も高い応募者を第一順位として選定し、次点の応募者を第二順位としました。

なお、審査にあたっては、公平性及び公正性を確保するため団体名を伏せて実施しました。

4 審査の経緯

回数	開催日	内容
第1回	令和5年9月5日	【委員5人出席】 ・ 会長選出及び職務代理者指名 ・ 指定管理者制度等の概要説明 ・ 募集要項等の協議
第2回	令和5年12月26日	【委員5人出席】 ・ 審査方法等の説明 ・ 面接審査、指定管理者候補者の選定

5 申請団体（届出順）

(1) 長崎平和施設管理グループ共同事業体

代表団体 (株) 司コーポレーション

構成団体 (株) 城保安警備

構成団体 (株) ガードシステム

(2) NBC Socia-Trustee 共同事業体

代表団体 (株) NBC ソシア

構成団体 (株) トラスティ建物管理

6 審査結果（採点結果は別紙のとおりです。）

第一順位 NBC Socia-Trustee 共同事業体

公の施設の指定管理における経験と実績に基づいた計画であり、かつ、今後の可能性を感じる意欲的な提案内容となっていた。特に、令和6年4月から指定管理業務を担う予定である長崎港松が枝国際ターミナルとの連携によるインバウンドへの取組みなど、事業体が持つ強みやノウハウを生かした提案が高く評価された。

将来的なビジョンも明確に示されており、今後の展開が期待できる提案となっていた。

第二順位 長崎平和施設管理グループ共同事業体

当該施設指定管理の実績があり、現状の問題点を的確に抽出し、よく考えられた計画となっていた。特に、ホール等に係る予約システムの改善については評価できる。

しかし、事業計画は堅実であったものの、原爆資料館の発展に関する構想や提案においては、従来の考え方から脱却することができず、新しい視点やアイデアにやや欠ける提案となっていた。

7 審査会総評

(1) 総括的な講評

第一順位者、第二順位者ともに、原爆・平和、被爆体験の継承に関する事業の重要性、平和発信の拠点施設としての原爆資料館の使命及び3施設の設置目的等をよく理解したうえで具体的な取組みが提案されている。また、施設を一体的に運営するうえで前提となる安定した経営基盤を有しており、いずれの団体も候補者になり得る運営能力を有している。

価格点では同点であり、技術点の「基本事項」「管理運営体制」の項目で僅差だったものの、「事業計画」の項目において、事業体が持つ強みやノウハウを生かした意欲的な提案が高く評価された第一順位者と、現状の問題点を的確に抽出し、よく考えた計画が評価された一方で、新たな発想という点でやや欠ける提案となった第二順位者とで、大きな差が出る結果となった。

以上のことから、当審査会は、第一順位の「NBC Socia-Trustee 共同事業体」を長崎原爆資料館、長崎市平和会館及び長崎市歴史民俗資料館の指定管理者候補者に選定した。

(2) 選定審査会委員からの要望・意見

- ・長崎市の公の施設の指定管理者として、長崎市と密に連携を図りながら、関係団体等と十分に協議をしたうえで、客観性、妥当性を確保しながら業務を進めてほしい。
- ・提案のあった企画については、具体的な内容やスケジュール等を長崎市や関係団体等と協議し、実現性を高めてほしい。
- ・効率化を図りつつも、状況を勘案しながら、適切な人員配置をタイムリーに行ってほしい。

(別紙) 採点結果

区分	評価項目		配点			採点 (第一順位)		採点 (第二順位)	
	大項目	中項目	詳細	各委員	全委員	計	NBC Socia-Trustee 共同事業体	長崎平和施設管理 グループ共同事業体	
技術点	事業計画	施設の設置目的と計画	施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか	8	40		36	28	
		サービスの向上	施設の利用者の増加や利便性を高めるための提案であるか 自主事業は施設の魅力や効用を高めるための提案であるか	8	40		34	24	
		図書室の運営	長崎原爆資料館の設置目的に沿った資料収集や環境整備、来館者への高度かつ専門的な資料提供を行うための提案であるか	8	40	180	30	26	
		書籍等売店運営事業	長崎原爆資料館の設置目的を踏まえた提案となっているか	4	20		15	13	
		喫茶スペース活用事業	喫茶スペースが効果的に活用されており、また施設の魅力や効用を高めるものであるか	4	20		18	13	
		評価と改善	事業の提案に創意工夫や評価・改善体制があるか	4	20		16	15	
	基本事項	基本方針	当該施設の管理運営業務について、施設の設置目的等にした基本方針・理念を持っているか	8	40		34	32	
		平等利用の確保	施設の利用に関し、公平性を確保する考え方や方策が適切であるか	4	20	80	15	16	
		個人情報の保護	施設の利用者の個人情報の保護に関する措置は適切か	4	20		16	14	
		人員配置	職員の配置人数、管理体制、有資格者配置状況等は、当該施設の業務を行うのに適切か 職員研修体制は適切か	8	40		30	26	
管理運営体制	収支計画	収支予算書の内容は事業計画との整合が図られているか 経費削減は考慮されているか	4	20	120	15	16		
	施設管理	当該施設の維持管理に関する基本的事項（清掃、保守点検、備品管理、修繕等）は適切であるか	8	40		32	34		
	緊急時の対応	緊急時における、連絡体制等危機管理体制は適切か	4	20		16	16		
技術点 計			76		380		307	273	
価格点	価格	経費は適正か	24		120		90	90	
	合計			100		500	397	363	